

○福士 岐阜県からということで、岐阜県環境生活部の宮川様に、報告をいただきたいと思
います。岐阜県ライチョウ保護計画についてのお話ですので、よろしくお願ひいたします。

岐阜県ライチョウ保護計画について



岐阜県環境生活部環境企画課

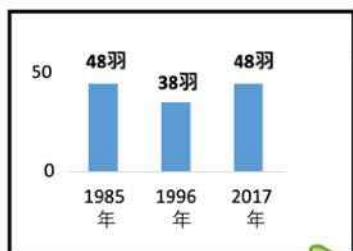
○宮川 岐阜県環境企画課の宮川と申します。それでは、始めます。

私の方からは岐阜県のライチョウ保護計画について、ということでお話しさせていただきます。

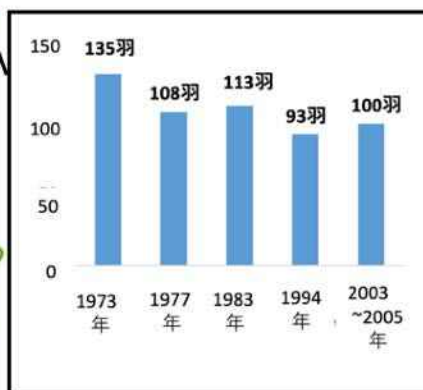
こちら県内のライチョウの生息状況をお示ししたもののなのですが、岐阜県は、過去から定期的にライチョウの生息状況の調査をしてきました。そして、このグラフで分かるように、岐阜県においては右肩下がりライチョウが減っているというような状況は見られなくて、比較的安定している状況であるということが分かりました。そして、ライチョウのすみかとなる高山植物などの状況についても比較的良いである、ということが分かりました。県内のそのような状況が把握できたということから、2019年3月に岐阜県ライチョウ保護計画というものを策定いたしました。こちらの保護計画なんですけど、詳しくは岐阜県のホームページでもご覧いただくことができますけれど、内容としましては、大きく分けて、生息状況の調査を行って変化を把握していくということと、ライチョウ保護意識とか生物多様性保全意識などを醸成する環境教育や普及啓発を行っていくということの、大きく分けて2つの内容となっています。

県内のライチョウ生息状況

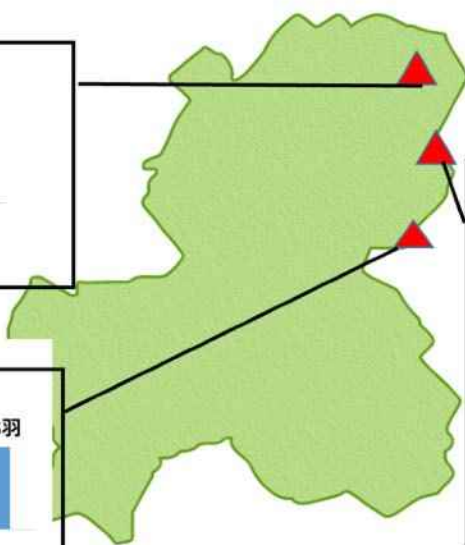
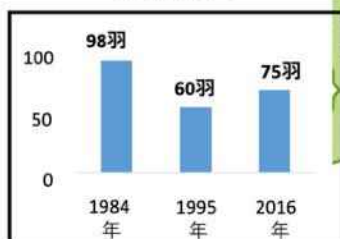
笠ヶ岳



乗鞍岳



御嶽山



岐阜県ライチョウ保護計画



平成31(2019)年3月

岐阜県

岐阜県ライチョウ保護計画

2019年3月 策定

まず、生息状況の調査なんですけど、生息状況の調査方法としては、約10年ごとに県が調査を実施するというのと、その調査を補完するために、登山者等から目撃情報を収集するというのを試みております。

ライチョウ等の目撃情報収集



笠ヶ岳



御嶽山



こちら、笠ヶ岳と御嶽山の山小屋に設置させていただいたものなんですけど、大変アナログな方法で、ライチョウとか、ライチョウの生息を脅かす野生動物を目撃した地図上の地点にシールを貼っていただき、ノートに詳細を記載していただくというものです。これにつきましては、レベルの高い山の山小屋に設置するというので、かなり意識の高い登山者の方からの情報が得られるということで、精度の高い情報が得られるんじゃないかなと思ってやっております。また、こちらについては、試行錯誤して、この後も続けていきたいと思っております。これに加え、先程の池田先生の研究センターと協力して、センサーカメラなどをしかけてシカの生息情報なんかの情報も収集していきたいなと、今後考えておるところです。

続きまして、環境教育と普及啓発ですが、まず、生息地における環境教育・普及啓発として、先程もお話しましたが、乗鞍岳は誰でもバスで簡単に行くことができ、全然登山の経験のない私のような者でも簡単に行くことができる、外国人などの多くの観光客も押し寄せるといって、その方々に効果的に普及啓発を実施していく方法が必要だ、ということで、開演前に皆様に見ていただきましたライチョウ保護啓発DVDというものを昨年度、作成しました。

乗鞍岳ライチョウツアー



ライチョウ 保護啓発DVD 「乗鞍岳のライチョウ」



また、生息地の方々にこそ、自然の素晴らしさ、身近な自然の素晴らしさを知って欲しいということで、昨年度、生息地、高山市の小学生とその保護者を対象に、乗鞍岳のライチョウツアーというものを行いました。このときは、座学で専門家の先生方に高山帯の植物や動物の話を教えていただき、その後、生息地を巡るというようなツアーを行いました。

生息地以外の場所の環境教育・普及啓発として、本日のようなシンポジウムを開催したり、また、多くの方に対する普及啓発ツールの1つとして、このライチョウパートナーというものを考えております。皆様の今日のお手元の資料にも、こちらの物を入れ込ませていただいたんですけど、ライチョウパートナーってどういうものかということなんですが、全く敷居の高いものではございません。ライチョウ保護のために、知る・伝える・参加するという、3つのことを、自主的に行うということを宣言していただければ、どなた様でもライチョウパートナーになれるよ、というものなんです。知る・伝える・参加するという内容は、詳しくはその紙の方に書いてありますので、また読んでいただきたいと思いますが、この3つのことを宣言していただき、ここにチェックして宣言していただいて、下の部分が切り取り線になっていて、こちらを県の方に提出いただけたという方には、こちらのライチョウパートナーカードというものをお渡ししております。こちらのカードなんですけれど、名刺サイズくらいになっておりまして、自分のお名前を書いていただいて、皆さんの周りの方に伝える、今日の話とかを伝える時のグッズとして使っていただけたらなあ、と思っております。

本日も宣言していただいて紙を提出していただける方は、最後に受付の方でその紙と交換に、こちらのカードをお渡しすることとしておりますので、皆様、是非是非、ライチョウパートナーになっていただけたら、と思っております。

ライチョウパートナー

「知る・伝える・参加する」

ライチョウをまもるために私たちにできること

今日からあなたもライチョウパートナー!

ライチョウは岐阜県の県鳥です。
本州中部の高山帯にしか生息していない
とても希少な鳥で、今、絶滅が危惧されています。
ライチョウをまもるために、
私たちに出来ることを始めませんか?
あなたの一歩がライチョウをまもります。

以下のことに取り組むことを意識します

知ります
詳しい人から話を聞いたり本で調べたりして、ライチョウやライチョウを取り巻く自然のことを知りましょう。まずは知ることから始めよう!

伝えます
ライチョウについて知ったことを家族や友人に話したり、SNSなどで発信しましょう。たくさんの方が興味を持ってくれるかも。次第で取り組みは効果絶大!

参加します
私たち人間も営み、生きものはつながりがあります。ライチョウをまもることは生物多様性をまもること。まずは身近な生きものの保護活動やイベントに参加しましょう。また、温暖化を防ぐ取り組みに参加することも生物多様性をまもることにつながります!

ライチョウパートナーに関する情報は
こちらからもご覧いただけます。

以下は切り取って他の人に譲ってください。

お住まいの寄附料
ご寄附 10円未満 10円 20円 30円
40円 50円 60円 70円以上

ライチョウパートナー

NAME.

ミナモ




それでは、最後に、岐阜県のこのライチョウ保護計画なんですけれども、ライチョウは岐阜県の豊かな自然を象徴する動物ということで、岐阜県の宝でもありますし、ライチョウを保護していくということは、ライチョウを取り巻く環境ごと保護していく、ということで、皆様が生物多様性について考えるきっかけともなるかと思っております。また、県が実施するライチョウ保護の施策を通じて、皆様方の身近な生物の保護についても考えていただけたら、ということを期待して、この県の事業を進めていきたいと思っております。以上です。ありがとうございました。

○福士 宮川様、ありがとうございました。岐阜県もこれまで以上に積極的に関わっていかれるということで、将来、期待したいと思っております。